

グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)

運用報告書 (全体版)

第41期 (決算日 2018年3月19日) 第43期 (決算日 2018年5月17日) 第45期 (決算日 2018年7月17日)
第42期 (決算日 2018年4月17日) 第44期 (決算日 2018年6月18日) 第46期 (決算日 2018年8月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)」は、2018年8月17日に第46期の決算を行ないましたので、第41期から第46期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2014年11月5日から2024年8月19日までです。
運用方針	主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。) の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642509>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率 %	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
17期(2016年3月17日)	9,202		円	円		0.1	%	140
18期(2016年4月18日)	9,171			40		—	93.8	129
19期(2016年5月17日)	9,222			40		—	95.0	103
20期(2016年6月17日)	9,080			40	△1.1	—	94.9	90
21期(2016年7月19日)	9,232			40	2.1	—	95.0	86
22期(2016年8月17日)	9,378			40	2.0	—	95.0	81
23期(2016年9月20日)	9,385			40	0.5	—	95.0	70
24期(2016年10月17日)	9,372			40	0.3	—	95.0	70
25期(2016年11月17日)	9,285			40	△0.5	—	94.9	66
26期(2016年12月19日)	9,412			40	1.8	—	95.0	68
27期(2017年1月17日)	9,457			40	0.9	—	95.0	68
28期(2017年2月17日)	9,568			40	1.6	—	95.0	69
29期(2017年3月17日)	9,638			40	1.1	—	95.0	66
30期(2017年4月17日)	9,671			40	0.8	—	95.0	63
31期(2017年5月17日)	10,011			40	3.9	—	95.0	61
32期(2017年6月19日)	9,984			40	0.1	—	95.2	41
33期(2017年7月18日)	10,058			40	1.1	—	95.0	41
34期(2017年8月17日)	10,165			40	1.5	—	100.2	46
35期(2017年9月19日)	10,158			40	0.3	—	95.0	53
36期(2017年10月17日)	10,285			40	1.6	—	100.3	57
37期(2017年11月17日)	10,326			40	0.8	—	95.1	76
38期(2017年12月18日)	10,326			40	0.4	—	98.4	86
39期(2018年1月17日)	10,421			40	1.3	—	98.9	80
40期(2018年2月19日)	10,270			40	△1.1	—	94.9	72
41期(2018年3月19日)	10,161			40	△0.7	—	94.9	79
42期(2018年4月17日)	10,125			40	0.0	—	94.9	82
43期(2018年5月17日)	9,953			40	△1.3	—	93.1	81
44期(2018年6月18日)	9,782			40	△1.3	—	95.2	77
45期(2018年7月17日)	9,667			40	△0.8	—	94.3	73
46期(2018年8月17日)	9,580			40	△0.5	—	94.9	73

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

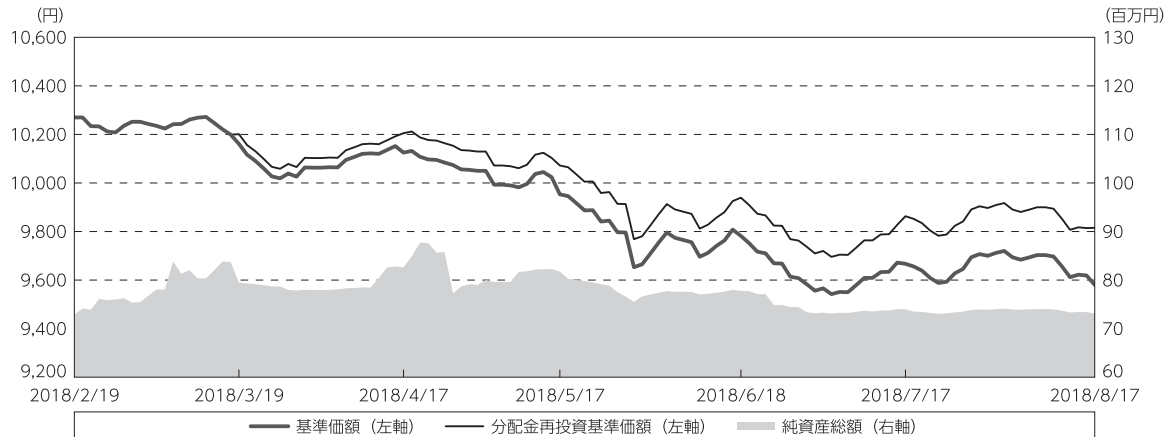
決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率		
第41期	(期 首) 2018年 2月19日	円		%		%
		10,270		—		94.9
	2月末	10,252		△0.2		94.3
第42期	(期 末) 2018年 3月19日		10,201			94.9
	(期 首) 2018年 3月19日		10,161			94.9
第43期			10,064			95.0
	(期 末) 2018年 4月17日		10,165		0.0	94.9
第44期	(期 首) 2018年 4月17日		10,125			94.9
			10,054		△0.7	94.3
	(期 末) 2018年 5月17日		9,993		△1.3	93.1
第45期	(期 首) 2018年 5月17日		9,953			93.1
			9,665		△2.9	93.5
	(期 末) 2018年 6月18日		9,822		△1.3	95.2
第46期	(期 首) 2018年 6月18日		9,782			95.2
			9,556		△2.3	94.7
	(期 末) 2018年 7月17日		9,707		△0.8	94.3
第47期	(期 首) 2018年 7月17日		9,667			94.3
			9,700		0.3	95.1
	(期 末) 2018年 8月17日		9,620		△0.5	94.9

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2018年2月20日～2018年8月17日）

作成期間中の基準価額等の推移



第41期首：10,270円

第46期末：9,580円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：△4.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年2月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもCOC債を中心に投資しております。また、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有銘柄からインカム収益を得たこと。

<値下がり要因>

- ・保有銘柄の価格が下落したこと。

投資環境

（Ｃ○Ｃ○債市況）

当期間のＣ○Ｃ○債市場は下落しました。英国およびドイツの国債金利の低下とキャリー収益はプラスに寄与したものの、スプレッド（上乗せ金利）の拡大によるマイナスの影響が上回りました。

2018年2月上旬に米国のインフレおよび金利上昇リスクが意識されて幅広い金融市場のボラティリティ（価格変動性）が急上昇したことを受けて、当期間のＣ○Ｃ○債市場は不安定な立ち上がりとなりました。3月には米中間の貿易戦争が始まったことからＣ○Ｃ○債市場の地合の悪さは続きました。4月には小反発となったものの、5月は下旬にイタリアの政局不安が高まったことから、イタリアの銀行債を中心にＣ○Ｃ○債市場は大きく下落しました。6月は行き過ぎたイタリアの政局不安は後退したものの、イールドカーブ（利回り曲線）のフラット化がＣ○Ｃ○債市場の重しとなりました。7月は米国や欧州の決算発表シーズンが力強く始まったことからリスク資産にとってポジティブな月となり、Ｃ○Ｃ○債市場は上昇しましたが、6月までの下げを取り戻すには至りませんでした。8月はトルコリラが大きく下落し、同国でビジネスを展開するイタリア、スペイン、フランスの銀行債が売られたことから、Ｃ○Ｃ○債市場は下落して期間末を迎えました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.07%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.18%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

収益性を追求するため「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）

G-S I F I s（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行を中心としたＣ○Ｃ○債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、投資妙味が高いと判断した銘柄に投資を行ないました。ポートフォリオのデュレーション（金利感応度）は4～5年、平均格付けはBB+としました。発行体は15～20、銘柄数は40～50程度に分散投資しました。Ｃ○Ｃ○債の価格の下落を受けて利回りは上昇しました。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.392%	0.394%	0.400%	0.407%	0.412%	0.416%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	665	673	678	685	693	701

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）

ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は依然として強固であるにも関わらず、欧州の政治不安の高まりに対する市場の過剰反応によりスプレッドがますます魅力的なレベルに広がっているため、金融ハイブリッド債全般への投資を行なう絶好の機会が生まれています。最近発行されたスイスの大手銀行のCOC債が好例です。この銀行は2013年以降、高リスク資産および業務の削減や増資により信用力を飛躍的に向上させましたが、直近で発行されたCOC債のクーポンは2013年に発行された同条件のCOC債のクーポンと同じでした。当ファンドは今後数カ月に発行されるCOC債は非常に魅力的な金利・スプレッド水準を備えることと予想しており、キャッシュを厚めにして来る新発債の発行に備え、これらの機会を積極的に利用して投資パフォーマンスの向上を狙う方針です。また、割安に評価されている現状をチャンスとみて、確信度の高いコアネーム（特にイタリア、スペイン、フランスの銀行）への投資を選択的に増やす方針です。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年2月20日～2018年8月17日)

項 目	第41期～第46期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0. 169)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0. 318)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0. 050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(5)	(0. 047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	55	0. 553	
作成期間の平均基準価額は、9,881円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年2月20日～2018年8月17日)

投資信託証券

銘 柄		第41期～第46期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
グローバル・ハイブリッド・セキユリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス	31,496	32,055	25,784	26,023	

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第41期～第46期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 29	千円 30	千口 28	千円 28

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月20日～2018年8月17日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）>

区 分	第41期～第46期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 32	百万円 32	% 100.0	百万円 26	百万円 26	% 100.0
金銭信託	64	64	100.0	64	64	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区 分	第41期～第46期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 11,036	百万円 11,036	% 100.0	百万円 11,036	百万円 11,036	% 100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2018年2月20日～2018年8月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年2月20日～2018年8月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年8月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第40期末	第46期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド	JPYヘッジ・クラス	66,687	72,400	69,403	94.9
	合 計	66,687	72,400	69,403	94.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第40期末	第46期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		71	73	73

(注) 親投資信託の2018年8月17日現在の受益権総口数は、670,464千口です。

○投資信託財産の構成

(2018年8月17日現在)

項 目	第46期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 69,403	% 94.4
マネー・アカウント・マザーファンド	73	0.1
コール・ローン等、その他	4,081	5.5
投資信託財産総額	73,557	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末
	2018年3月19日現在	2018年4月17日現在	2018年5月17日現在	2018年6月18日現在	2018年7月17日現在	2018年8月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	83,864,423	83,097,824	82,194,443	78,219,372	74,466,787	73,557,843
コール・ローン等	6,539,813	4,589,100	4,734,352	4,064,480	4,050,228	4,081,259
投資信託受益証券(評価額)	75,379,100	78,426,564	76,071,779	74,078,027	69,734,753	69,403,015
マネー・アカウンツ・マザーファンド(評価額)	79,731	82,160	81,464	76,865	73,242	73,346
未収入金	1,865,779	—	1,306,848	—	608,564	223
(B) 負債	4,394,707	476,403	465,021	446,693	479,099	458,270
未払収益分配金	312,834	326,412	328,465	318,039	306,148	305,223
未払解約金	3,980,412	40,000	15,707	—	48,493	19,016
未払信託報酬	61,919	64,491	68,969	70,294	60,567	64,207
未払利息	10	7	8	3	5	6
その他未払費用	39,532	45,493	51,872	58,357	63,886	69,818
(C) 純資産総額(A-B)	79,469,716	82,621,421	81,729,422	77,772,679	73,987,688	73,099,573
元本	78,208,740	81,603,196	82,116,407	79,509,960	76,537,058	76,305,942
次期繰越損益金	1,260,976	1,018,225	△ 386,985	△ 1,737,281	△ 2,549,370	△ 3,206,369
(D) 受益権総口数	78,208,740口	81,603,196口	82,116,407口	79,509,960口	76,537,058口	76,305,942口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,161円	10,125円	9,953円	9,782円	9,667円	9,580円

(注) 当ファンドの第41期首元本額は70,973,246円、第41～46期中追加設定元本額は40,518,761円、第41～46期中一部解約元本額は35,186,065円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第41期1,0161円、第42期1,0125円、第43期0,9953円、第44期0,9782円、第45期0,9667円、第46期0,9580円です。

(注) 2018年8月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,206,369円です。

○損益の状況

項 目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	421,158	437,378	450,182	449,815	434,940	433,221
受取配当金	421,412	437,605	450,510	450,000	435,091	433,384
受取利息	—	2	—	2	—	—
支払利息	△ 254	△ 229	△ 328	△ 187	△ 151	△ 163
(B) 有価証券売買損益	△ 840,398	△ 311,776	△ 1,402,744	△ 1,374,387	△ 932,475	△ 721,942
売買益	59,194	22,382	40,024	34,915	35,525	904
売買損	△ 899,592	△ 334,158	△ 1,442,768	△ 1,409,302	△ 968,000	△ 722,846
(C) 信託報酬等	△ 67,933	△ 70,763	△ 75,723	△ 77,130	△ 66,571	△ 70,487
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 487,173	54,839	△ 1,028,285	△ 1,001,702	△ 564,106	△ 359,208
(E) 前期繰越損益金	232,105	△ 553,781	△ 715,313	△ 1,956,686	△ 3,129,055	△ 3,950,405
(F) 追加信託差損益金	1,828,878	1,843,579	1,685,078	1,539,146	1,449,939	1,408,467
(配当等相当額)	(4,009,072)	(4,285,329)	(4,482,154)	(4,366,303)	(4,211,512)	(4,209,104)
(売買損益相当額)	(△ 2,180,194)	(△ 2,441,750)	(△ 2,797,076)	(△ 2,827,157)	(△ 2,761,573)	(△ 2,800,637)
(G) 計(D+E+F)	1,573,810	1,344,637	△ 58,520	△ 1,419,242	△ 2,243,222	△ 2,901,146
(H) 収益分配金	△ 312,834	△ 326,412	△ 328,465	△ 318,039	△ 306,148	△ 305,223
次期繰越損益金(G+H)	1,260,976	1,018,225	△ 386,985	△ 1,737,281	△ 2,549,370	△ 3,206,369
追加信託差損益金	1,828,878	1,843,579	1,685,078	1,539,146	1,449,939	1,408,467
(配当等相当額)	(4,009,072)	(4,285,329)	(4,482,154)	(4,366,303)	(4,211,512)	(4,209,104)
(売買損益相当額)	(△ 2,180,194)	(△ 2,441,750)	(△ 2,797,076)	(△ 2,827,157)	(△ 2,761,573)	(△ 2,800,637)
分配準備積立金	1,196,923	1,207,355	1,092,382	1,086,200	1,099,564	1,143,630
繰越損益金	△ 1,764,825	△ 2,032,709	△ 3,164,445	△ 4,362,627	△ 5,098,873	△ 5,758,466

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年2月20日～2018年8月17日)は以下の通りです。

項 目	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月17日	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	353,225円	366,614円	374,458円	372,685円	368,369円	362,734円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,009,072円	4,285,329円	4,482,154円	4,366,303円	4,211,512円	4,209,104円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,156,532円	1,167,153円	1,046,389円	1,031,554円	1,037,343円	1,086,119円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,518,829円	5,819,096円	5,903,001円	5,770,542円	5,617,224円	5,657,957円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	705円	713円	718円	725円	733円	741円
g. 分配金	312,834円	326,412円	328,465円	318,039円	306,148円	305,223円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○お知らせ

約款変更について

2018年2月20日から2018年8月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資を行ない、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。 	
主な投資制限	・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
収益分配	原則として、毎月10日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないません。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.74% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	アルジェブリス（UK）リミテッド	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◎投資有価証券明細表

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2017年12月31日

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合%
変動利付債			
フランス			
BNP Paribas FRN Perp3	600,000	693,000	1.42
BNP Paribas FRN Perp4	1,100,000	1,525,613	3.14
BNP Paribas SA FRN Perp	1,000,000	1,100,000	2.26
Credit Agricole FRN Perp7	2,000,000	2,262,500	4.65
Societe Generale FRN Perp2	400,000	465,000	0.96
Societe Generale FRN Perp	2,000,000	2,247,500	4.62
フランス合計（取得原価：US\$7,277,239）		8,293,613	17.05
ドイツ			
Deutsche Bank FRN 24-May-28	600,000	593,039	1.22
ドイツ合計（取得原価：US\$524,551）		593,039	1.22
イタリア			
Intesa Sanpaolo FRN Perp3	800,000	1,062,396	2.18
Intesa Sanpaolo FRN Perp	600,000	876,246	1.80
Unicredit Spa FRN Perp	650,000	945,247	1.94
Unicredit Spa FRN Perp	500,000	547,198	1.13
Unicredit Spa Frn Perp 03-Dec-65	500,000	651,432	1.34
イタリア合計（取得原価：US\$3,172,574）		4,082,519	8.39
オランダ			
ING Groep FRN Perp3	1,000,000	1,085,700	2.23
ING Groep NV FRN Perp	500,000	546,250	1.12
オランダ合計（取得原価：US\$1,497,831）		1,631,950	3.35
スペイン			
Banco Santander FRN Perp2	400,000	526,550	1.08
Banco Santander FRN Perp6	300,000	408,926	0.84
Bbva FRN Perp3	1,200,000	1,557,818	3.20
Bbva FRN Perp6	1,400,000	1,992,123	4.10
Bbva FRN Perp7	400,000	413,080	0.85
スペイン合計（取得原価：US\$4,095,918）		4,898,497	10.07

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合%
変動利付債（続き）			
スイス			
Credit Suisse Ag FRN Perp9	300,000	328,350	0.67
Credit Suisse GP FRN	2,390,000	2,730,336	5.61
UBS FRN Perp2	1,100,000	1,245,750	2.56
UBS Group Ag FRN Perp	1,000,000	1,106,880	2.28
UBS Group Ag FRN Perp	500,000	543,900	1.12
スイス合計（取得原価：US\$5,385,196）		<u>5,955,216</u>	<u>12.24</u>
英国			
Barclays Bank FRN Perp	1,400,000	1,436,750	2.95
Barclays Plc FRN Perp	600,000	901,067	1.85
Barclays Plc FRN Perp	200,000	219,250	0.45
Barclays Plc FRN Perp49	400,000	590,479	1.21
HSBC Holdings FRN Perp 22-Nov-65	250,000	262,813	0.54
HSBC Holdings FRN Perp	400,000	431,000	0.89
HSBC Holdings FRN Perp1	1,200,000	1,278,000	2.63
HSBC Holdings FRN Perp2	1,450,000	2,033,712	4.18
Lloyds Banking FRN Perp	1,800,000	2,801,794	5.76
RBS Group Plc FRN Perp4	300,000	337,875	0.70
RBS Group Plc FRN Perp	1,600,000	1,830,000	3.76
RBS Group Plc FRN Perp	600,000	634,500	1.31
Santander UK FRN Perp	1,200,000	1,786,291	3.67
Santander UK Group FRN Perp	300,000	442,860	0.91
英国合計（取得原価：US\$14,081,686）		<u>14,986,391</u>	<u>30.81</u>
米国			
Bank of America FRN Perp2	1,200,000	1,363,500	2.80
Citigroup FRN Perp9	500,000	531,875	1.10
米国合計（取得原価：US\$1,700,000）		<u>1,895,375</u>	<u>3.90</u>
変動利付債合計（取得原価：US\$37,734,995）		42,336,600	87.03
為替先渡契約		(283,839)	(0.58)
純金融資産総額		42,052,761	86.45
その他純資産		6,593,846	13.55
純資産合計		48,646,607	100.00

為替先渡契約

2017年12月31日時点において、シリーズ・トラストは保管会社との間で次の為替先渡契約を保有していた。

契約額 買い/ (売り)	通貨	満期	米ドル未収額/ (未払額) (米ドル)	外貨未収額/ (未払額) (米ドル)	未実現利益/ (損失) (米ドル)
(326,700)	ブラジル・リアル	2018年1月5日	100,661	(98,405)	2,256
106,137,000	インド・ルピー	2018年1月5日	(1,602,349)	1,661,476	59,127
21,940,877,100	インドネシア・ルピア	2018年1月5日	(1,602,326)	1,616,011	13,685
8,080,120	日本円	2018年1月4日	(71,497)	71,749	252
(869,300)	メキシコ・ペソ	2018年1月4日	45,378	(44,375)	1,003
(1,644,300)	ノルウェー・クローネ	2018年1月4日	203,275	(201,068)	2,207
22,113,800	南アフリカ・ランド	2018年1月4日	(1,601,727)	1,784,449	<u>182,722</u>
為替先渡契約に係る未実現利益：					<u>261,252</u>
5,315,600	ブラジル・リアル	2018年1月5日	(1,657,535)	1,601,104	(56,431)
(4,134,000)	英ポンド	2018年3月21日	5,563,397	(5,607,788)	(44,391)
(8,300,000)	ユーロ	2018年3月21日	9,857,229	(10,017,030)	(159,801)
(2,985,100)	インド・ルピー	2018年1月5日	45,701	(46,729)	(1,028)
(618,800,000)	インドネシア・ルピア	2018年1月5日	45,558	(45,576)	(18)
2,834,999,400	日本円	2018年3月22日	(25,333,307)	25,277,503	(55,804)
29,736,300	メキシコ・ペソ	2018年1月4日	(1,602,243)	1,517,940	(84,303)
(101,600)	ニュージーランド・ドル	2018年1月5日	70,941	(72,251)	(1,310)
3,040,500	ニュージーランド・ドル	2018年1月5日	(2,185,569)	2,162,202	(23,367)
18,475,900	ノルウェー・クローネ	2018年1月4日	(2,317,740)	2,259,271	(58,469)
(172,000)	新トルコ・リラ	2018年1月4日	43,599	(45,280)	(1,681)
5,884,200	新トルコ・リラ	2018年1月4日	(1,601,169)	1,549,059	(52,110)
(638,400)	南アフリカ・ランド	2018年1月4日	45,137	(51,515)	<u>(6,378)</u>
為替先渡契約に係る未実現（損失）：					<u>(545,091)</u>

上記の為替先渡契約はすべて様々な受益証券クラスのためのヘッジに関連している。上記の未決済契約の他方通貨はすべて米ドルである。上記の為替先渡契約は当期を通して保有していた為替先渡契約の代表的なものである。

シリーズ・トラストは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。シリーズ・トラストはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

シリーズ・トラストによる為替先渡契約への投資は主としてクラス・ヘッジおよびカレンシー・オーバーレイを目的とし、主たるリスク・エクスポージャーは為替リスクである。

デリバティブ商品とヘッジ活動

次の表は2017年12月31日に終了した年度に係る損益計算書に含まれる、デリバティブに係る純利益（損失）を示す。

	実現利益/ (損失) (米ドル)	純未実現利益/ (損失)の変動 (米ドル)	合計 (米ドル)	当年度中の 平均活動 (米ドル)
為替先渡契約	(667,918)	637,277	(30,641)	(2,115)*

* 当年度中の平均活動は、それぞれの契約を米ドルに換算した際の想定元本ベースのエクスポージャーに基づく。

◎資産負債計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2017年12月31日
(米ドル)**資産**

投資、公正価値（取得原価：US\$37,734,995）	42,336,600
現金	5,970,199
為替先渡契約に係る未実現利益	261,252
未収利息	466,424
受益証券販売に係る未収金	296,908
その他資産	2,421

資産合計**49,333,804****負債**

外貨当座借越し（手取金：US\$16,209）	16,317
為替先渡契約に係る未実現損失	545,091
未払運用報酬	1,192
受益証券買戻しに係る未払金	71,316
その他未払手数料	53,281

負債合計**687,197****純資産****48,646,607**

受益証券1口当たり純資産価額ークラスAヘッジなし受益証券

（純資産総額734,474,911円と発行済受益証券698,784,979口に基づく）

JPY 1.0511

受益証券1口当たり純資産価額ークラスB日本円ヘッジ付受益証券

（純資産総額2,934,320,692円と発行済受益証券2,802,203,975口に基づく）

JPY 1.0471

受益証券1口当たり純資産価額ークラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・

ユニット（純資産総額708,315,044円と発行済受益証券827,881,117口に基づく）

JPY 0.8556

受益証券1口当たり純資産価額ークラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・

ユニット（純資産総額1,102,929,624円と発行済受益証券1,474,352,048口に基づく）

JPY 0.7481

◎損益計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2017年12月31日に終了した年度
(米ドル)**投資収益**

受取利子（源泉徴収税US\$88,723を除く）

2,752,533

投資収益合計

2,752,533

費用

支払利子

478

受託者報酬

6,731

運用報酬

13,462

投資運用報酬

269,283

管理報酬

20,194

保管報酬

29,971

専門家報酬

12,910

その他費用

24,681

費用合計

377,710

投資純利益**2,374,823****純実現利益および未実現利益の変動額**

実現損失

投資および通貨に係る純実現損失

(480,640)

為替先渡契約に係る純実現損失

(667,918)

(1,148,558)

未実現評価益の変動額

投資および通貨に係る未実現評価益の純変動額

6,992,365

為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額

637,277

7,629,642

純実現利益および未実現利益の変動額**6,481,084**

運用から生じる純資産の純増加額

8,855,907

◎純資産変動計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2017年12月31日に終了した年度
(米ドル)

運用から生じる純資産の純増加額

投資純利益	2,374,823
実現純損失	(1,148,558)
未実現評価益の純変動額	7,629,642

運用から生じる純資産の純増加額

8,855,907

受益者への分配金：

クラスAヘッジなし受益証券からの分配金	(505,240)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券からの分配金	(1,453,163)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットからの分配金	(828,159)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットからの分配金	(2,077,287)
分配金合計	(4,863,849)

資本取引：

受益証券発行：

クラスAヘッジなし受益証券の発行 (160,235,056口)	1,420,873
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の発行 (1,693,491,662口)	15,465,991
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの発行 (125,031,847口)	924,338
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの発行 (472,497,564口)	3,129,961
	20,941,163

受益証券買戻し：

クラスAヘッジなし受益証券の買戻し (437,965,302口)	(3,832,750)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の買戻し (953,342,950口)	(8,615,062)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの買戻し (534,087,853口)	(3,963,053)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの買戻し (733,506,308口)	(4,870,414)
	(21,281,279)

資本取引から生じる純資産の純減少額

(340,116)

純資産の純増加額

3,651,942

純資産

期首 44,994,665

期末

48,646,607

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2017年10月12日）
（2016年10月13日～2017年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1	88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2016年10月12日	円		%
	10,042		—
10月末	10,042		0.0
11月末	10,042		0.0
12月末	10,041		△0.0
2017年1月末	10,041		△0.0
2月末	10,041		△0.0
3月末	10,040		△0.0
4月末	10,040		△0.0
5月末	10,040		△0.0
6月末	10,039		△0.0
7月末	10,039		△0.0
8月末	10,038		△0.0
9月末	10,038		△0.0
(期 末) 2017年10月12日	10,038		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2016年10月13日～2017年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,042円の基準価額は、期間末に10,038円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続を受けてマイナス圏での推移が続き、-0.17%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

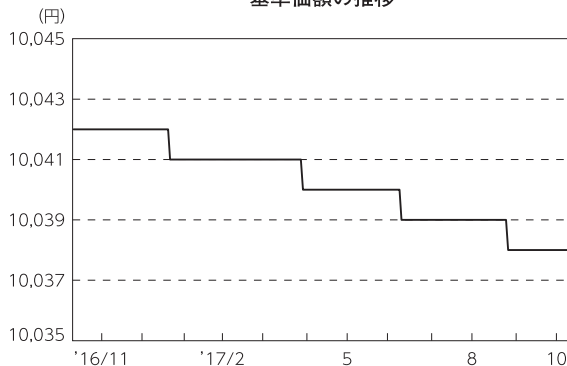
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2016/10/12	2016/10/13	2017/08/28	2017/10/12
10,042円	10,042円	10,038円	10,038円

○1万口当たりの費用明細

(2016年10月13日～2017年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,040円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年10月13日～2017年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月13日～2017年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 357	百万円 357	% 100.0	百万円 357	百万円 357	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年10月13日～2017年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2017年10月12日現在)

2017年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 661,682	% 100.0
投資信託財産総額	661,682	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			661,682,646
(B) 負債				661,682,646
	未払解約金			278,376
	未払利息			277,864
				512
(C) 純資産総額(A-B)				661,404,270
	元本			658,910,922
	次期繰越損益金			2,493,348
(D) 受益権総口数				658,910,922口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,038円

(注) 当ファンドの期首元本額は480,993,642円、期中追加設定元本額は415,964,251円、期中一部解約元本額は238,046,971円です。

(注) 2017年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	287,259,337円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ブラジルレアルコース	837,597円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース> (毎月分配型)	69,547,135円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	753,337円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネー・プールファンド)	41,815,963円	・ノーロード・インド株式フォーカス (毎月分配型)	752,217円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	32,778,388円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	678,078円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	28,955,453円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	676,024円
・エマージング・プラス (マネー・プールファンド)	27,451,112円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	636,075円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	22,456,222円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	610,742円
・世界標準債券ファンド	20,281,261円	・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	541,940円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	20,092,189円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	524,878円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	16,240,188円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	374,593円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	13,108,450円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	334,258円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	12,991,511円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) 資源国通貨コース	144,907円
・グリーン世銀債ファンド	6,067,283円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジあり	101,456円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	5,134,883円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (通貨プレミアムコース)	64,022円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	4,965,465円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) オーストラリアドルコース	62,350円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	4,433,361円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	54,631円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	4,377,699円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ヘッジなしコース	45,908円
・エマージング・プラス・円戦略コース	3,190,026円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	45,584円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	2,686,757円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジなし	34,511円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	2,565,899円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	33,112円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,451,358円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	29,657円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	2,357,284円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス (毎月分配型)	27,713円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,312,618円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,956,450円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	1,507,407円	・上場インデックスファンドNifty50先物 (インド株式)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,220,458円	・上場インデックスファンド中国H株 (ハンセン中国企業株)	19,983円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,167,296円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,133,961円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	17,801円
・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,107,582円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジなし	16,020円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	1,006,611円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (円ヘッジコース)	962,609円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグロース・マーケット・ファンド	870,773円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	848,153円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,314円

(注) 1口当たり純資産額は1.0038円です。

○損益の状況

(2016年10月13日～2017年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 247,709
	受取利息		2,050
	支払利息		△ 249,759
(B)	保管費用等		△ 1,056
(C)	当期損益金(A+B)		△ 248,765
(D)	前期繰越損益金		2,029,982
(E)	追加信託差損益金		1,669,721
(F)	解約差損益金		△ 957,590
(G)	計(C+D+E+F)		2,493,348
	次期繰越損益金(G)		2,493,348

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2016年10月13日から2017年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。